

## 『横須賀市教育史（昭和44年～平成31年）』の刊行について

### 1 編纂・刊行の目的

- ・平成5年12月に、江戸末期より第2次世界大戦終了までを対象とした『横須賀市教育史』を刊行、昭和44年3月、戦後から昭和43年までの「戦後横須賀教育史」を刊行し、今回計画の『横須賀市教育史（昭和44年～平成31年）（1969年～2019年）』はその続編とする。
- ・学習指導要領の変遷を的確に捉え、教育のあり方がどう変化してきたのかを客観的に検証することが、これからの横須賀の教育を考える上で必要である。

### 2 編集刊行の基本方針

- ・編集対象期間は昭和44年から平成31年までの50年間とする。
- ・客観的事実に基づき、偏りがなく、公正で中立な内容にする。  
1章 学習指導要領の内容    2章 行政としての視点から    3章 横須賀の特徴
- ・全体を学習指導要領の告示に合わせ、ほぼ10年で区切り、5期に分けて編集する。
- ・本編の他に資料編を作成する。

### 3 横須賀市教育史(資料編)に収録する内容

- (1) 平成10年度（1998年度）から令和4年度（2022年度）横須賀の教育の歩み
- (2) 児童数・生徒数・学校数の推移、教員数の推移
- (3) 横須賀市立学校の系譜  
(幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校)
- (4) 横須賀市立学校の校章とその由来  
\* 「資料・戦後横須賀の教育の歩みー学制改革50年ー」（平成9年(1997年)11月 発行）からの続きとなるように資料データを更新する

### 4 刊行物の仕様・冊数

デジタルデータでの提供予定（Webでの提供）

### 5 今後の計画

令和5年3月現在、校閲（外部に委託）作業中です。必要な訂正を行い、令和5年4月以降、第I期から第V期及び資料編を順次刊行していきます。

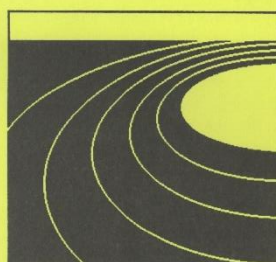
# 横須賀市教育史 資料編

(横須賀の教育の歩み平成 10 年度以降)



資料・戦後横須賀の教育の歩み

—— 学制改革50年 ——



平成9年11月1日

横須賀市教育委員会



## 横須賀の教育の歩み(平成10年度以降)

平成10年度	1998	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民病院内に、荻野小学校の病虚弱学級(院内学級)設置</li> <li>・中学校に、心の教室設置・相談員配置</li> <li>・外国語指導助手(ALT)15名増員</li> <li>・(仮称)横須賀総合高等学校の基本計画策定</li> </ul>	
		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に、ネットワーク型コンピュータ配備</li> <li>市立小・中・高等学校すべてがネットワークで結ばれる</li> <li>・「ジュニアヨットスクール」開催</li> </ul>	
		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第53回神奈川県国民体育大会・秋季大会(かながわ・ゆめ国体)が、横須賀アリーナ、南体育館、追浜球場等で開催</li> </ul>	
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領告示</li> </ul>	
		1999	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部省と郵政省の「先進的教育用ネットワークモデル地域事業(文部省の呼称)」指定</li> </ul>
平成11年度	1999	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本小学校と青葉小学校を統合し、桜小学校開校</li> <li>・佐島の天神島に県より天神島臨海自然教育園学習棟(天神島ビジターセンター)が、移管され、開館</li> </ul>	
		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「横須賀スクールネットワーク」の開通式 開催</li> </ul>	
		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校インターネットアドバイザー事業開始</li> </ul>	
		2000	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形作品展、幼・小・中・高の子どもたちの作品を、初めて一堂に展示</li> </ul>
平成12年度	2000	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園新学習指導要領全面实施</li> <li>・中学校にノート型コンピュータ追加整備を行い、コンピュータ室1人1台の42台に</li> </ul>	
		2001	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターが、ウェルシティにオープン</li> <li>学校の指導時期にウェルシティのプールの使用が可能になる</li> </ul>
平成13年度	2001	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀市が中核市となる</li> <li>県費負担教職員の研修は、教育研究所が中心となり実施</li> <li>・日本語指導員の派遣校が増え、ロシア語、韓国語新設</li> <li>・中学校総合体育大会、50回記念大会として実施</li> <li>・横須賀市中学校体育連盟設立50周年記念誌を刊行</li> </ul>	
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校児童相撲大会に女子の部の新設</li> </ul>	
		秋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ室を全小学校に設置</li> </ul>	
		2002	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校芸術鑑賞会実施、横須賀芸術劇場で公演を鑑賞</li> </ul>
		平成14年度	2002	4
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴェルニー記念館開館</li> </ul>			
平成15年度	2003	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領 高等学校で新入学生から順次実施</li> <li>・大塚台小学校開校</li> <li>・市立商業高校、工業高校、普通科高校を統合し、総合学科の横須賀総合高等学校開校</li> <li>・高等学校にスクールカウンセラー配置</li> </ul>	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に訪問相談員配置(1校1名)</li> <li>・中学校に部活動指導者派遣</li> <li>・全学校に司書教諭配置</li> <li>・二学期制試行(10校)開始</li> <li>・学区選択自由化試行(中学校4校で)開始</li> <li>・県委託「SSN(スクーリング・サポート・ネットワーク)事業」開始</li> <li>・教育委員会内に不登校対策検討委員会設置</li> </ul>
		8	・「横須賀市国際教育特区」認定
平成16年度	2004	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校解消推進本部設置</li> <li>・小学校にふれあい相談員15名配置</li> <li>・訪問相談員を1名から5名に増員、特別支援コーディネーター各学校1名配置を開始(H16～18)</li> <li>・専門家による相談支援チーム設置</li> <li>・特別支援教育推進事業実施</li> <li>・外国人英語正規教員(FLT)導入(中学校2校)</li> <li>・教員基本研修、16年次・26年次研修を廃止し、新たに21年次研修を実施</li> <li>・スクールランチ導入</li> </ul>
		5	・学校教育法等の一部改正「栄養職員」新設
		7	・適応指導教室「スペースゆうゆう坂本」新設
		9	・スクールデジタルコンテスト実施
平成17年度	2005	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中学校の学校選択制が全市に拡大して実施</li> <li>・学校2学期制、中学校全校・小学校25校で実施</li> <li>・学力向上支援事業実施</li> <li>・英語を母語とする者を正規教員として採用(中学校3校)</li> <li>・小学校ふれあい相談員20名に拡充</li> <li>・訪問相談員を5名から8名に増員 勤務も週4日に拡充</li> </ul>
		5, 10	・保護者向けの支援「ハートフルフォーラム」を年2回開催
	2006	3	・陽光小学校閉校(鶴久保小学校に統合)
平成18年度	2006	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校いきいき事業実施</li> <li>・幼少連携推進事業実施</li> <li>・小学校ふれあい相談員24名に拡充、全小学校に配置</li> <li>・訪問相談員を8名から10名に増員</li> <li>・IT学習サポート事業実施(ITアドバイザー事業拡充)</li> </ul>
		12	・改正教育基本法成立 公布・施行
	2007	3	・桜台中学校閉校(坂本中学校に統合)
平成19年度	2007	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀美術館開設 小学校6年生を対象に鑑賞会実施</li> <li>・国際教育相談員を配置、日本語指導員派遣対象校を33校から40校に増</li> <li>・外国人英語教員を4名から5名に増員</li> <li>・小学校スーパーバイザーを新規配置</li> <li>・特別支援介助員の配置校22校から25校に増</li> <li>・訪問相談員を10名から15名に増員</li> <li>・全国学力・学習状況調査の実施 小6 中3</li> <li>・学校防犯カメラ設置(小48校 ろう・養)</li> </ul>

		6	・「学校教育法」・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」・「教育職員免許法及び教育公務員特例法」の改正
		8	・「市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する実施計画」策定
	2008	3	・新学習指導要領告示
<b>平成20年度</b>	2008	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職大学院 国立15校、私立4校で発足</li> <li>・全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施 小5 中2</li> <li>・「はぐくみかん」開設 教育研究所から教育相談部門を移管(不登校対策は、学校教育課に移管)</li> <li>・ALT全学校に配置(小30人、中19人に増員)</li> <li>・国際教育の充実事業実施</li> <li>・学校運営支援事業実施</li> <li>・特別支援学級介助員の配置校25校から28校へ増</li> <li>・訪問相談員を15名から20名へ増員、全中学校に配置</li> <li>・鴨居小学校で文部科学省委託研究「小学校における英語活動等交際理解活動推進事業」実施</li> <li>・明浜小学区を一部改正(遠距離通学の解消)</li> <li>・中学校スーパーバイザーを新規配置</li> </ul>
		6	・小・中学校の新学習指導要領の移行措置告示
		7	・教育振興基本計画を閣議決定
<b>平成21年度</b>	2009	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカー配置</li> <li>・給食費 18年ぶりに改訂 3,300円から4,000円に</li> <li>・教員免許更新制 完全実施</li> <li>・よこすかドリーム・スポーツプロジェクト推進事業実施</li> <li>・諏訪小学校で文部科学省委託研究「道徳教育実践研究」実施</li> <li>・倉渕地域交流事業(昭和56年友好都市提携)による倉渕村小学生受け入れは、倉渕村の高崎市への合併による友好都市解消のため廃止</li> </ul>
		6	・6年生 ミュージカル鑑賞会実施
		9～2	・新型インフルエンザ大流行
	2010	3	・光洋小学校閉校(鴨居小学校に統合)
<b>平成22年度</b>	2010	11	・感染性胃腸炎(ノロウイルス)が流行拡大
	2011	2	・全市立学校の校内LAN工事実施・普通教室にパソコン1台と2教室に1台の割合でのプロジェクター整備が完了
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災</li> <li>・上の台中学校閉校(鴨居中学校に統合)</li> <li>・「横須賀市教育振興基本計画」(H23～33年度)策定</li> </ul>
<b>平成23年度</b>	2011	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 新学習指導要領 完全実施</li> <li>・小学1年生 35人以下学級に</li> <li>・校務支援システム本稼働</li> <li>・横須賀市教育委員会の組織改編 教育指導課・支援教育課新設</li> <li>・特別支援学級を市立小中学校全校へ設置</li> <li>・小学校放課後学習ルームサポートティーチャー派遣</li> <li>・小中一貫教育の取組開始</li> <li>・指導力向上・学級改善支援員派遣事業実施</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よこすか教師塾 開始</li> <li>・全国学力・学習状況調査 震災の影響により中止</li> </ul>
	2012	1	・横須賀市学力向上シンポジウム実施

平成24年度	2012	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校 新学習指導要領完全実施</li> <li>・小学2年生35人以下学級に</li> <li>・教頭候補者選考試験導入</li> </ul>
		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀市の支援教育推進に向けた提言を発表</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども「いじめ」相談ホットライン設置</li> </ul>
	2013	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育シンポジウム実施</li> </ul>
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立高等学校入学者選抜制度変更</li> <li>・「部活動及び学校生活全般における体罰の実態把握に関する緊急調査(市町村学校)」実施</li> </ul>
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全市立小中高 普通教室にエアコン完備</li> <li>・学校給食交流体験事業実施</li> <li>・平作小学校閉校(池上小学校に統合)</li> </ul>
平成25年度	2013	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領全校種で全面实施(高校は平成25年度入学生から順次実施)</li> <li>・全国学力・学習状況調査 4年ぶりに全員参加方式で実施</li> <li>・横須賀総合高校、オーストラリアエアロノラ高校との短期留学開始</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ防止対策推進法」成立</li> </ul>
		8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YOKOSUKA English World開催</li> </ul>
	2014	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「横須賀市教育振興基本計画第2期実施計画」(H26～29年度)策定</li> <li>・「横須賀市支援教育推進プラン(前期H26～29年度)」策定</li> </ul>
平成26年度	2014	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立全小中学校へ学力向上放課後教室サポートティーチャーを派遣</li> <li>・市立全学校へネイティブスピーカー指導者を派遣</li> <li>・小中学校教科指導員導入</li> <li>・ICT授業支援サポーター事業実施</li> <li>・特別支援学級にタブレット型パソコンを整備</li> </ul>
		2015	3
平成27年度	2015	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜寺子屋教室・土曜科学教室開催</li> <li>・支援教育課教育相談の窓口開設</li> </ul>
平成28年度	2016	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3年生少人数指導に係る非常勤講師配置</li> <li>・市立小・中学校全校での小中一貫教育の取組開始</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校完全給食実施を決定</li> <li>・不登校をともに考える会実施</li> <li>・教育公務員特例法等の一部改正</li> </ul>
		2017	3
平成29年度	2017	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年授業アドバイザーを導入</li> <li>・市の学習状況調査:小学校6年生で理科・社会、中学校3年生の理科・社会・英語を追加</li> <li>・英語の副教材「Finding YOKOSUKA」を作成し、中学校2年生全員に配布</li> <li>・法定研修「十年経験者研修」を「中堅教諭等資質向上研修」に改名</li> </ul>
		2018	3

平成30年度	2018	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別の教科」道徳が小学校で開始</li> <li>・小学校高学年で教科としての「外国語」開始</li> <li>・小学校3年生が35人以下の少人数学級となるよう非常勤職員を配置</li> <li>・学校司書を中学校へ新たに4人配置</li> <li>・英検3級の受験料の全額補助実施(市内中学校3年生 希望者全員を対象)</li> <li>・「横須賀市支援教育推進プラン(後期H30～R3年度)」スタート</li> <li>・学校給食費を公会計化</li> </ul>
令和元年度	2019	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に英語専科教員を配置</li> <li>・中核教員育成事業開始</li> <li>・中堅教諭等資質向上研修の弾力的受講開始</li> <li>・子ども読書活動推進のため学校司書を中学校に4名配置</li> <li>・池上小学校・池上中学校が国立教育政策研究所委託研究「魅力ある学校づくり調査研究事業」実施</li> </ul>
	2020	5 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月1日より元号が「平成」から「令和」となる</li> <li>・新型コロナウイルスの感染予防対策として、3月3日から学年末休業までの間、全市立学校の一斉臨時休業措置実施</li> </ul>
令和2年度	2020	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領 小学校で全面实施</li> <li>・小学3年生35人以下学級に</li> <li>・英語専科教員10名を小学校40校に配置</li> <li>・中学校・ろう学校1人1台端末の学校での活用開始</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため休業していた全国の小中高校などが約3か月ぶりに再開</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策として、各種行事・研修等が活動縮小・中止に</li> </ul>
令和3年度	2021	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領 中学校で全面实施</li> <li>・鴨居中学校・鴨居小学校・小原台小学校が国立教育政策研究所委託研究「魅力ある学校づくり調査研究事業」実施</li> </ul>
		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター開業、中学校完全給食開始</li> <li>・小学校・養護学校1人1台端末の学校での活用開始(端末の搬入・ネットワークの整備などが終了した学校より順次開始)</li> </ul>
	2022	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「横須賀市教育振興基本計画」(R4～11年度)策定 横須賀の目指す教育の姿「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり」の提示</li> <li>・諏訪幼稚園閉園</li> </ul>
令和4年度	2022	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領 高等学校で新入学生から順次実施</li> <li>・「横須賀市学力向上推進プラン(R4～R7年度)」スタート</li> <li>・「横須賀市支援教育推進プラン(R4～R7年度)」スタート</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部改正</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員免許更新制の廃止・研修履歴の義務化</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小・中・特別支援学校1人1台端末に関する整備終了</li> </ul>

## 横須賀の児童生徒数・学校数・教員数の変遷

戦後の学制改革により6・3・3・4制になった昭和22年当時、横須賀の児童生徒数・学校数は、児童数26,632名、生徒数が5,122名、学校数は、小学校26校、中学校は10校であった。その後、児童生徒数が徐々に増え、小学校では昭和33年に一つ目のピークを迎え、児童数38,919名、学校数29校になる。中学校は昭和37年にピークを迎え、生徒数19,428名、学校数15校であった。

その後、再び児童生徒数は下降線をたどり、小学校では昭和41年、中学校では昭和47年に底になり、その後、急激に児童生徒数が増えていった。小学校では昭和56年、中学校では昭和61年に最大になり、児童数45,078名、生徒数22,187名になった。

学校数では、小学校は昭和61年小学校48校であったが、平成8年に野比東小学校が開校し49校、その後、平成11年に坂本小学校・青葉小学校が統合、桜小学校になり48校になったが、平成15年に大塚台小学校が新設され再度49校になった。

中学校では生徒数最大数の昭和61年は24校であったが、翌25年に岩戸中学校が新設され25校になり、最大数になった。

その後、児童生徒数の減少により、学校の統廃合の動きが出てきて、平成18年に陽光小学校が鶴久保小学校と統合、平成22年に光洋小学校が鴨居小学校と統合、平成25年に平作小学校が池上小学校と統合し現在46校である。中学校では、平成19年に桜台中学校が坂本中学校と統合、平成23年に上の台中学校が鴨居中学校と統合し現在は23校である。

以下、具体的にみていく。

### ■ I期－昭和44年（1969年）から昭和51年（1976年）の状況

I期は児童生徒数の増加が激しい期間であった。昭和44年（1969年）、小学校32校＋分校1、児童数26,065名、中学校15校、生徒数11,692名であった。以後児童生徒数が増加し、学校数もそれに伴って増えた。

昭和45年、公郷小学校の分校が森崎小学校となり、小学校数は33校になった。また、池上中学校の分校ができ、翌昭和46年公郷中学校として開校した。中学校は16校になる。

昭和48年には、児童数が3万人を超えた。平作小学校が池上小学校より分離、光洋小学校が鴨居小学校より分離、ハイランド地区に栗田小学校が新設、第一高等学校と第二高等学校が統合、横須賀市立横須賀高等学校が新設された。小学校は36校になる。

昭和49年、岩戸小学校が明浜小学校より分離し、小学校37校になる。

昭和50年、鷹取小学校が追浜小学校より、陽光小学校が鶴久保小学校より、望洋小学校が馬堀小学校より、富士見小学校が武山小学校より分離独立し小学校は41校になる。

昭和51年、津久井小学校が北下浦小学校より分離し、常葉台中学校が移転新設され、常葉中学校に生まれ変わった。小学校は42校、児童数36,980名、中学校は17校、生徒数14,841名になる。

### ■ II期－昭和52年（1977年）から昭和63年（1988年）

昭和52年の児童生徒数は、児童数38,731名、生徒数は15,707名である。

昭和52年、小原台小学校が鴨居小学校より分離、野比中学校が北下浦中学校から分離独立した。

昭和53年、衣笠中学校が池上中学校から分離独立した。

昭和54年、神明小学校が栗田小学校から、神明中学校が久里浜中学校から分離独立した。



昭和 55 年、大矢部小学校が森崎小学校・衣笠小学校など大矢部地区の学校から独立し、根岸小学校が大津小学校から分離した。また鷹取中学校が追浜中学校より、上の台中学校が鴨居中学校から分離独立した。

昭和 57 年、野比小学校が北下浦小学校から荻野小学校が武山小学校大楠小学校から独立した。

児童数のピークは昭和 56 年で学校増設の流れもほぼ落ち着き、小学校数が 48 校になった。

昭和 59 年、大矢部中学校が公郷中学校、衣笠中学校、久里浜中学校より分離独立した。

昭和 60 年、長沢中学校が北下浦中学校より分離独立した。

昭和 61 年、岩戸中学校が久里浜中学校より分離独立し、中学校の最大数の 25 校になった。

昭和 63 年の児童数は 32,010 名、生徒数は 20,504 名であった。

#### ■Ⅲ期—平成元年（1989 年）から平成 9 年（1997 年）

平成元年の児童数は 30,183 名、生徒数は 18,826 名である。児童生徒数は減少傾向が続いている。

平成 8 年、野比東小学校が野比小学校から分離独立し、小学校数の最大 49 校になった。

平成 9 年の児童生徒数は減少傾向が続いてきて、児童数 23,498 名、生徒数 12,863 名で、ピーク時のほぼ半数近くにまでなっていた。

#### ■Ⅳ期—平成 10 年（1998 年）から平成 19 年（2007 年）

平成 10 年の児童数は 23,198 名、生徒数は 12,412 名で微減現象は続いている。学校数は小学校 48 校中学校 25 校であったが、平成 15 年に大塚台小学校が新設され、最大の 49 校になった。しかし、児童生徒数の減少に伴って、統廃合の動きが出てきた。

平成 11 年、坂本小学校と青葉小学校が統合し、桜小学校となる。

平成 18 年、陽光小学校が鶴久保小学校に統合された。

平成 19 年、桜台中学校が坂本中学校に統合された。

また、平成 15 年に横須賀市立横須賀高等学校、横須賀市立工業高等学校、横須賀市立商業高等学校が統合され、横須賀市立横須賀総合高等学校が開校した。

#### ■Ⅴ期—平成 20 年（2008 年）から現在

平成 20 年の児童数は 22,169 名、生徒数は 10,491 名で、小学校 48 校、中学校 24 校である。

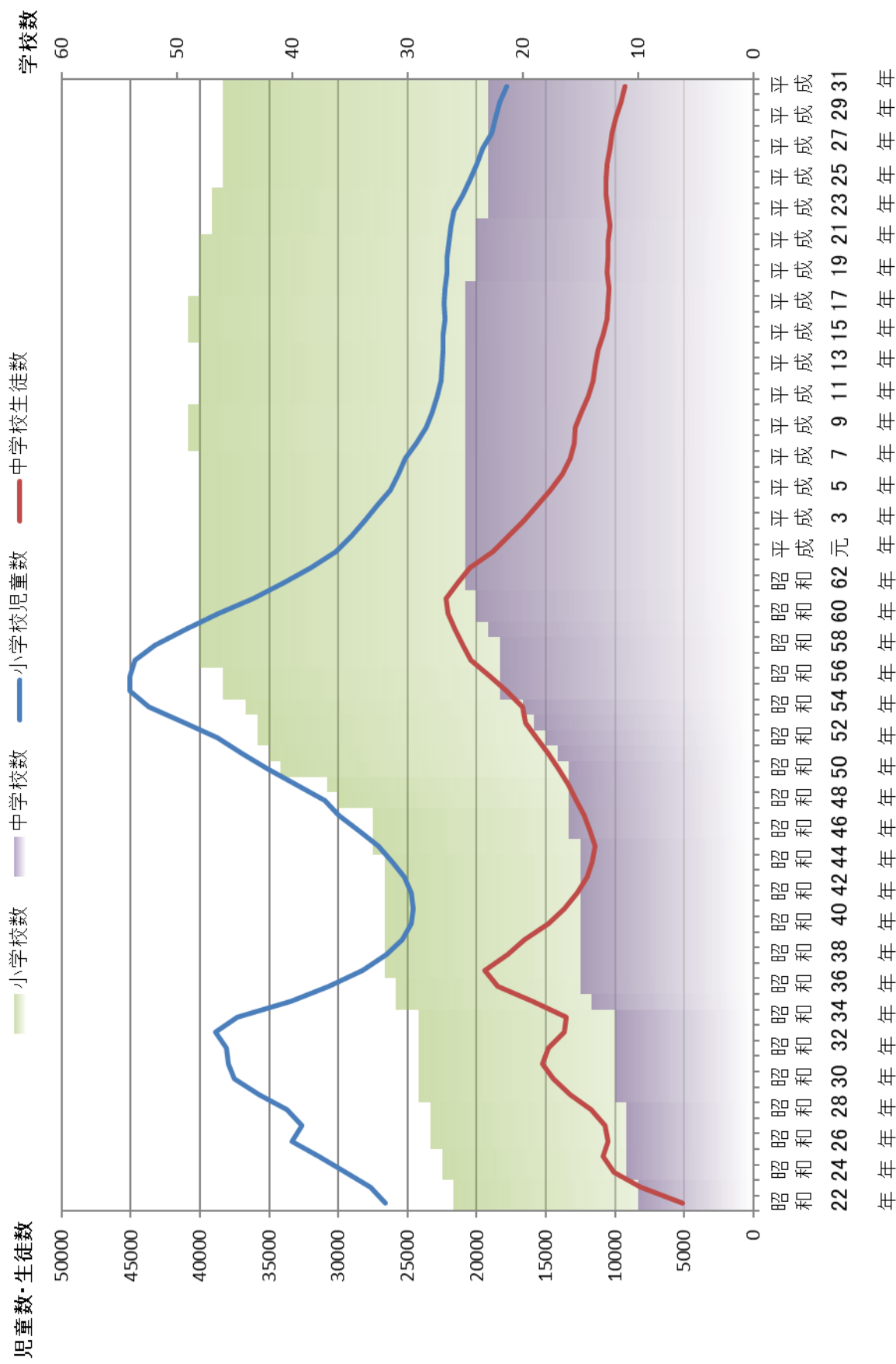
平成 22 年、光洋小学校が鴨居小学校と統合された。

平成 23 年、上の台中学校が鴨居中学校に統合された。

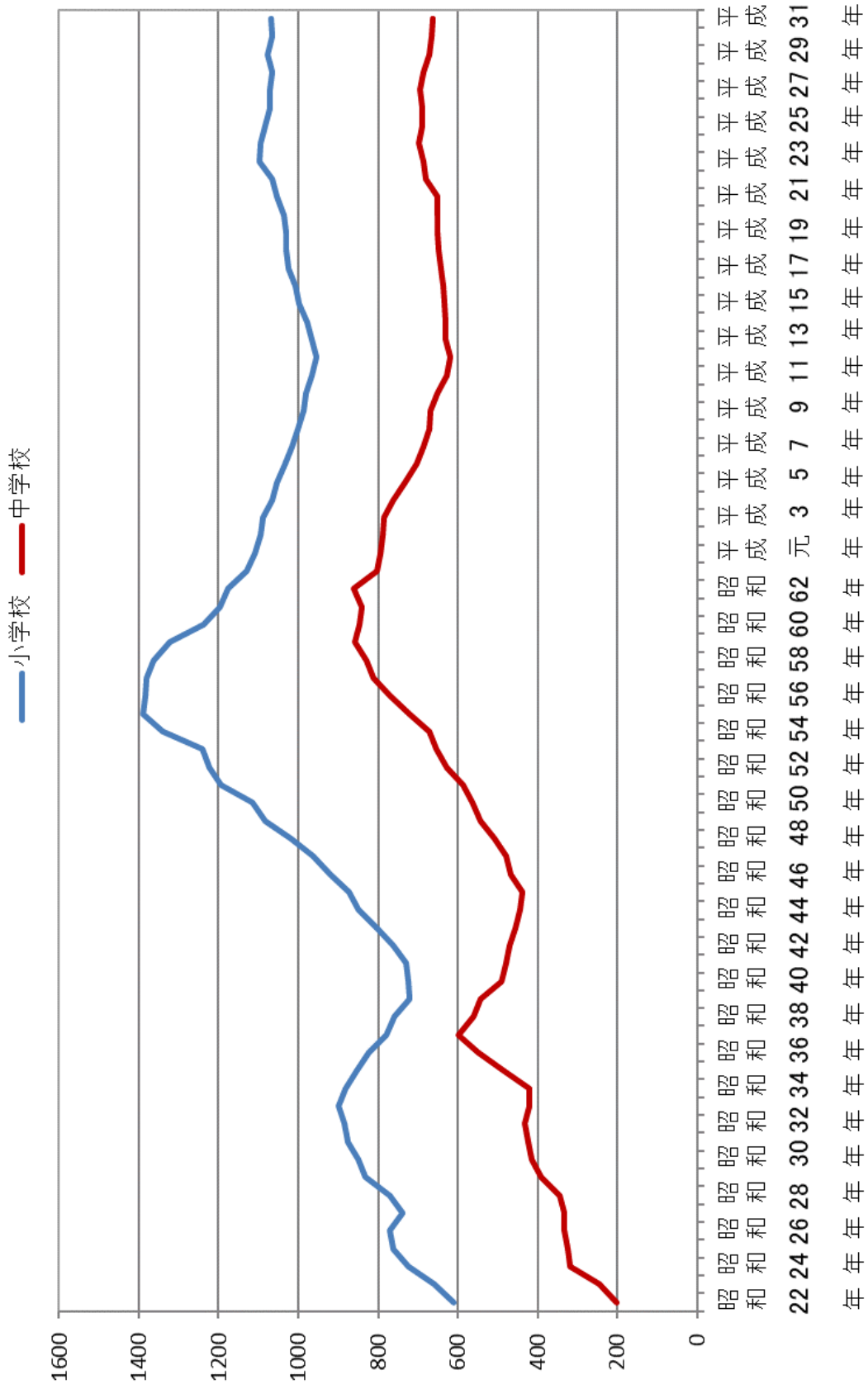
平成 25 年、平作小学校が池上小学校に統合され、小学校 46 校、中学校 23 校になった。

平成 30 年の児童数は 18,316 名、生徒数は 9,572 名である。

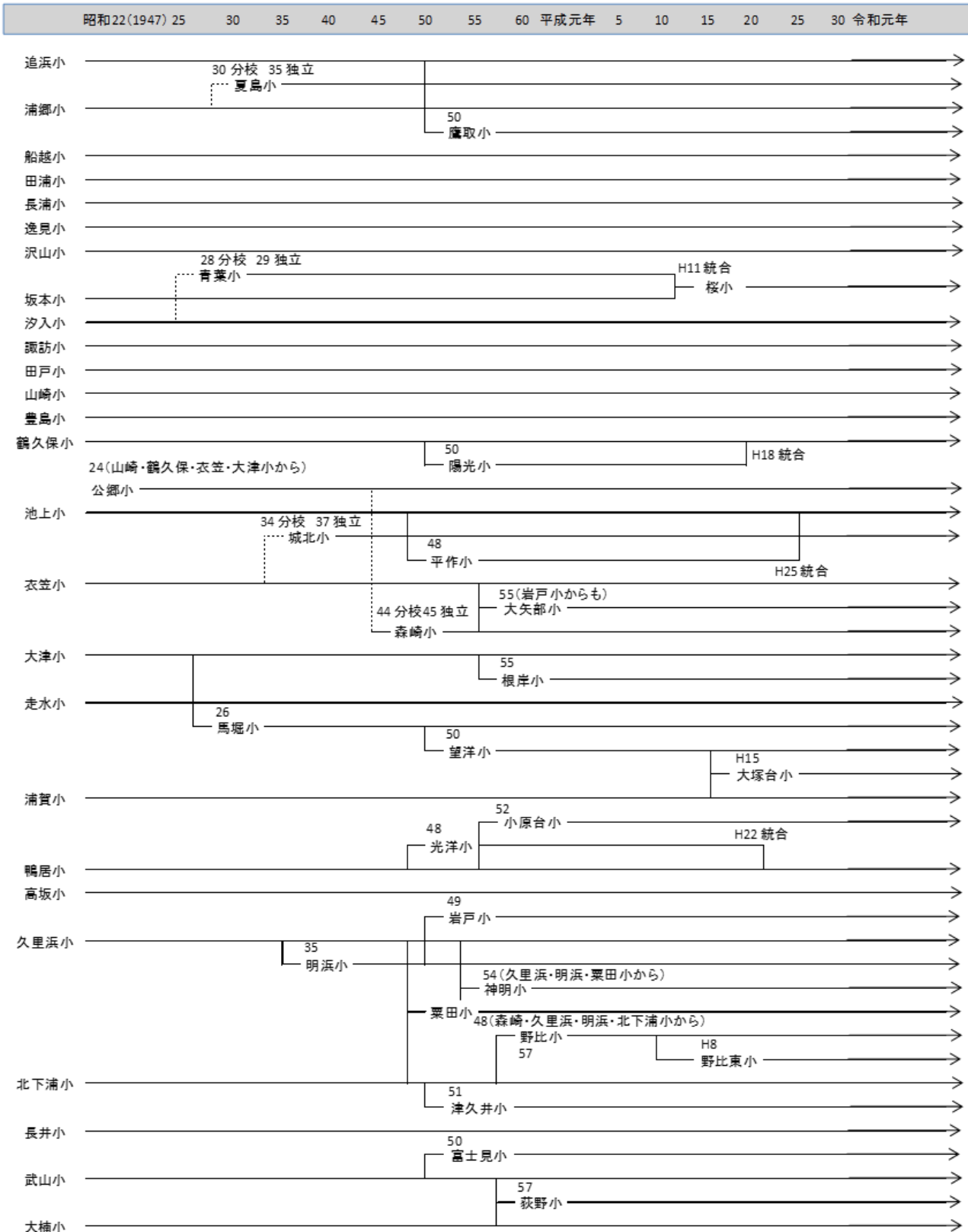
# 児童数・生徒数・学校数の推移



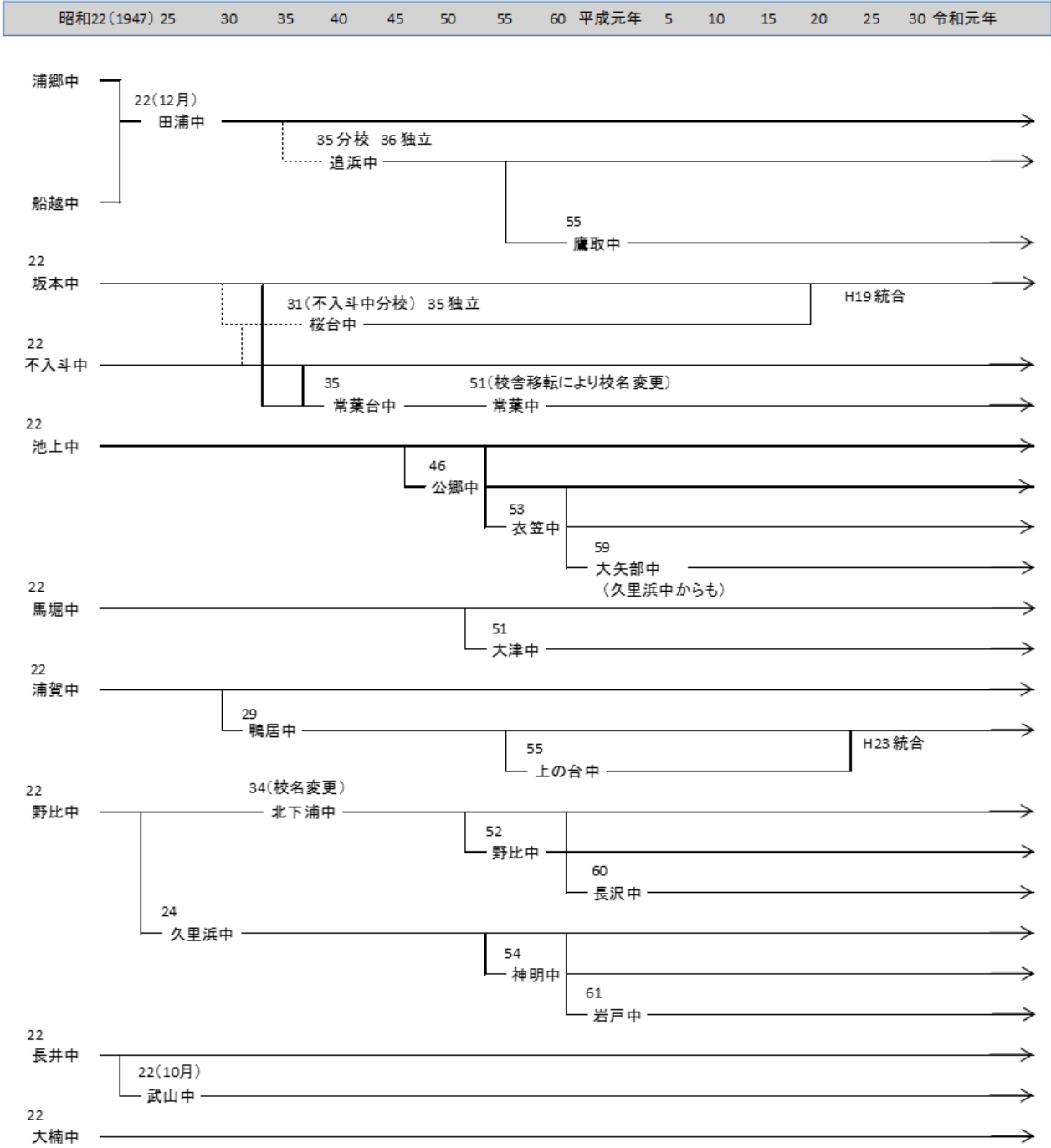
# 教員数の推移



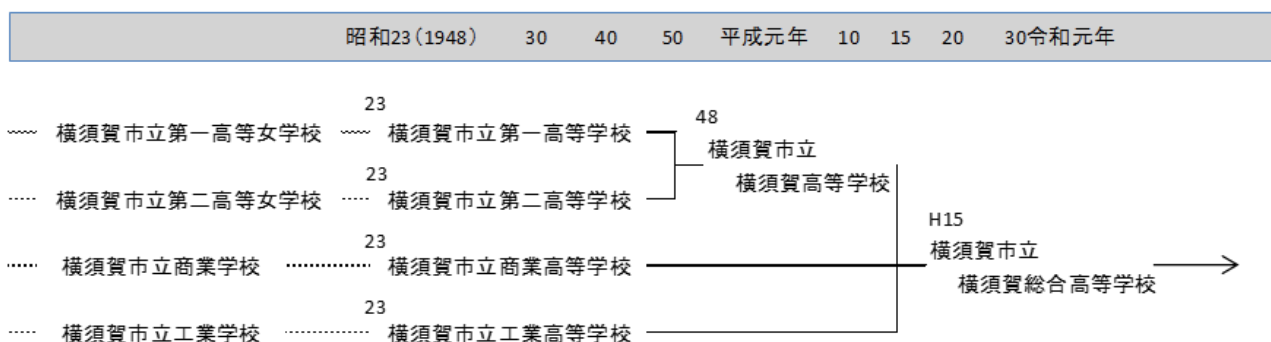
# 横須賀市立小学校の系譜



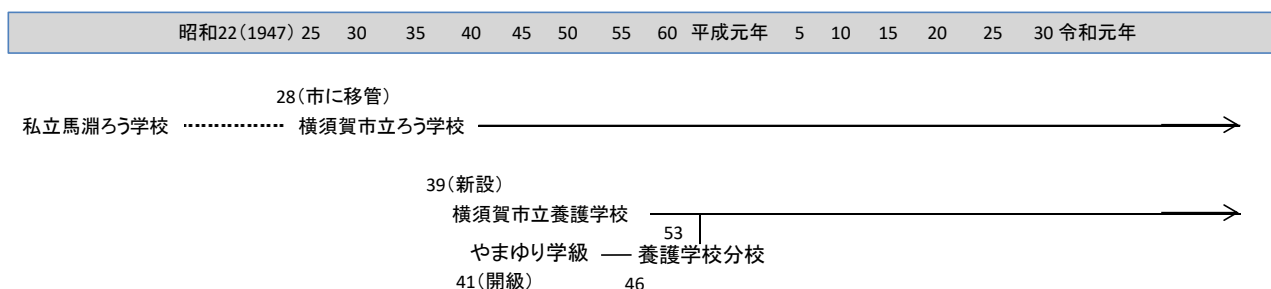
# 横須賀市立中学校の系譜



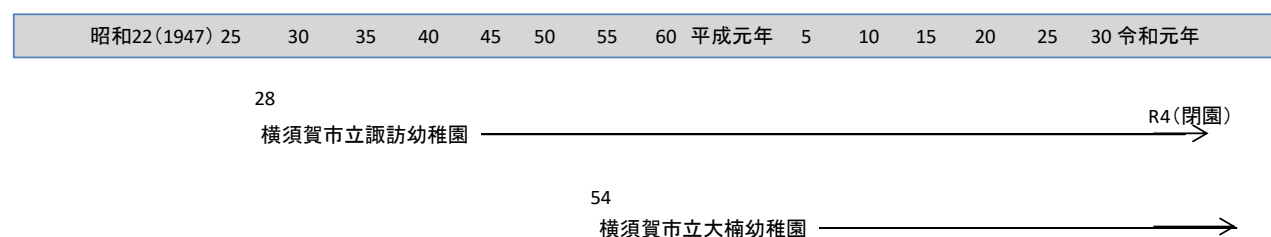
## 横須賀市立高等学校の系譜



## 横須賀市立特別支援学校の系譜



## 横須賀市立幼稚園の系譜



## 横須賀市立学校・園の校章・園章とその由来

※校名が青字の学校・園は統廃合され、令和4年時点で存在しない学校・園

追浜小学校



巖に砕ける波頭を主とし、三対の羽を従とする。三対の羽は、健康・勉学・友情を意味する。【S16 開校】

夏島小学校



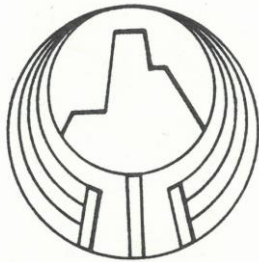
菱形かしわ。菱形は、夏島が往古「ひし島」と呼ばれていたことによる。柏は、直立し強枝を分け、がっしりしている樹木。【S30 開校】

浦郷小学校



桜の花をかたどる。「ウ」と「ラ」の花弁5枚で校名を表す。中央は、「学」を意味する。【M7 開校】

鷹取小学校



中央の山は、鷹取山を、周囲は鷹の羽と同時に手をつなぎ、和をもって進むことを表している。【S50 開校】

船越小学校



外側に片仮名の「フ」を七つ配し、内側に「コ」を四つ配して船越を表し、中央に学校の「学」を配し、船越小学校を表す。【M20 開校】

田浦小学校



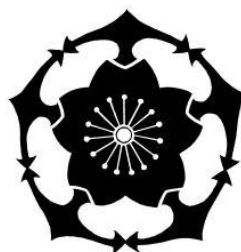
田の字の中央に浦をおいて田浦の地名を表す。【T12 開校】

長浦小学校



全体の形を瑞宝章にのっとり、外輪蛍、内輪雪にして即ち蛍雪を意味する。【M6 開校】

逸見小学校



横須賀の港を表す「錨」でまわりを囲み、中央に桜の花をおく。【M6 開校】

沢山小学校



沢山小学校の「澤」の字を羅針盤と沢山の地形に見たて囲む。正しい方向を知る力を身につけるように。輪郭は市章をかたどる。【M44 開校】

桜小学校



三つの桜の花は、学校・家庭・地域を表し、中央の「桜」は、子どもたちを表す。三つの花に支えられ、健やかに成長していくことを願う。

【H11 開校】

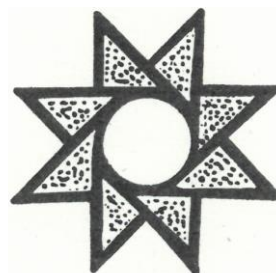
汐入小学校



校名の前身は横須賀学校であった。中央に市章と同様に「ヨコ」を組み合わせ、回りは旭光を表し清新の気を示している。

【M5 開校】

諏訪小学校



諏訪(スワ)の頭文字の「ス」を八つ組み合わせている。中央の丸は、「和」の精神を表す。

【M35 開校】

田戸小学校



横須賀の港を表すため、「錨」を四つ組み合わせている。中は、田戸の「田」と「ト」を表している。

【T10 開校】

山崎小学校



市章と羅針盤をかたどり、中央に山崎の「サキ」が図案化されている。周囲の凸凹は、山を表す。

【M45 開校】

豊島小学校



周りの円は、全校の教師・児童併せて父母の円満と幸福を祈念したもの。中に「ト」「マ」を四つずつ組み合わせて「としま」を表す。

【M5 開校】

鶴久保小学校



校名にちなんで鶴をかたどり、漢字の「久保」を図案化して組み合わせたもの。

【M41 開校】

公郷小学校



公郷の頭文字「公」を三つ(衣笠・鶴久保・山崎)の3校から集まった)組み合わせて、中央に横須賀の頭文字「Y」をおいた。【S24 開校】

池上小学校



横須賀を表す「ヨ」、「コ」と三浦の家紋とを同時に表現し、その上に池上の校名をあしらっている。【S3 開校】



城北小学校



衣笠城跡の北にあたる地に開校したことから、城北の「北」をバックに中央に「城」をおく。【S37 開校】

衣笠小学校



三浦氏の家紋、丸に三つ引きを並べ、これを菱形に切り、四囲に衣笠城の城郭の射眼を配す。武士道の権化三浦大介の徳を慕っている。

【M6 開校】

大矢部小学校



まわりは「オオヤベ」の文字、児童が丸くなって手をつなぎ「和」をあらわし、「小」をかこんでいる。小の左右の「三」は衣笠城主の三浦氏一族の家紋の図案化。【S55 開校】

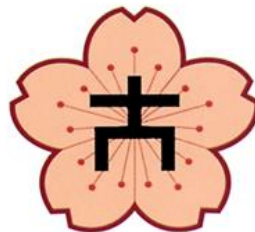
森崎小学校



「森サキ」を図案化したもので、環境の良さを表し、木が三方から集まっているので、緑でまとめた。また、文化の中心になることも表している。

【S45 開校】

大津小学校



桜の花の中央に大津小学校の「大」がデザインされた校章。明治 22 年の記録にあるが、作成された年は不明。

【M10 開校】

根岸小学校



校章のイメージ化の視点を「子どもたちを育むもの・子どもへの願い」にすえ、「みつばち」と「はりえん樹」で表現している。【S55 開校】

走水小学校



「走」の文字、校訓「強く正しく美しく」と水を表す三線が東京湾の波に囲まれ、日本書紀の弟橘媛に由来する「八稜鏡」に映されている。

【M6 開校】

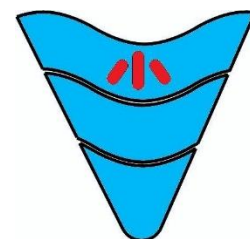
馬堀小学校



海に近いことから、力強く打ち寄せる波で馬堀の字を囲み、強くたくましい児童の成長と力強い団結を願っている。

【S26 開校】

望洋小学校



青地は海を、白線は白波を、ひろがり発展を表している。

【S50 開校】

大塚台小学校



若葉が周りの輪を飛び出すくらい元気なようすを表している。若葉は緑で輪の中は太陽の光を表すオレンジ色、小の字は白で輪郭の濃い線は緑色。【H15 開校】

浦賀小学校



八重桜と三本の扇を組み合わせている。扇は、浦賀港の別名扇の港をさし、扇が三本あるのは三浦の三を表している。【M31 開校】

小原台小学校



校名の「小原台」の文字を太く、丸くまとめ、子ども達の「健康」と「輪」つまり「和」を願ってデザインされた。小は、上部外廻り。原は、中央。台は、下部外廻り。【S52 開校】

鴨居小学校



中央に鴨居の「鴨」を象形化し配置。桜の五弁に「ペン」を並べ、源氏の紋「ササリンドウ」を周囲に配置して、文武両道を表している。【M6 開校】

高坂小学校



愛宕山の桜を周りに配し、中央にペリー来航の黒船をおき、その上に浦賀に住んでいたと先住民族を図案化している。【T15 開校】

岩戸小学校



カタカナで「イワト」を図案化し、中央に「小」を配置している。【S49 開校】

久里浜小学校



八重桜で型取り、中央に「久里浜」を入れて校名を表す。【M6 開校】

明浜小学校



中央に明浜の「明」、まわりにカタカナで「ハマ」をデザイン。【S35 開校】

神明小学校



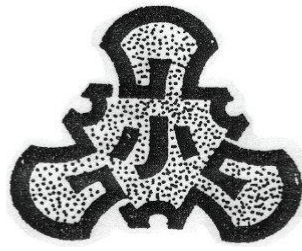
「神明小」の「神」を中心に、3枚のいちょうの葉で囲み、葉の中心に「明」を入れている。【S54 開校】

栗田小学校



子ども・保護者・先生・地域が  
手を取り合い「和」をもつての  
願いを円形としてまとめ、その  
中に栗田の文字を図案化し  
たもの。  
【S48 開校】

野比小学校



ひらがな「の」の字を三方に  
置き、その間を「ひ」の字で結  
び、中心に小学校の「小」の  
字を置いている。  
【S57 開校】

野比東小学校



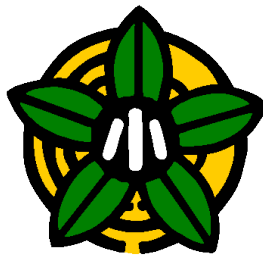
外側には野比海岸の海の波  
の逞しさを、内側にはこの地  
に自生する「浜大根」の優し  
さを表現している。【H8 開校】

北下浦小学校



三方に「北」の文字をペン先  
型に置き、「下」の字で結んだ  
カブトと矢車を表して、雄飛と  
積極性を願う。  
【M34 開校】

津久井小学校



津久井地区の主産物である  
「みかん」を図案化し、「つく  
い」の3文字をあしらっている。  
ゆたかで調和のとれた児  
童の育成祈念。  
【S51 開校】

長井小学校



長井の井の字を図案化し、中  
央に長の字を配したデザイン  
で、荒波に打ち勝つ強く正し  
い児童の育成を願う。  
【M22 開校】

富士見小学校



富士見の見を円形に図案化  
し、富士山と小の文字を囲ん  
だもの。円満な人格とひとの  
和、児童と教師・父母と学校・  
地域の発展を願う。  
【S50 開校】

武山小学校



矢羽(やばね)の末広がり、  
武将の館があった地を表し、  
山に囲まれた「武山」を中央  
に図案化している。  
【M24 開校】

荻野小学校



「荻野」にちなんで、3本の  
「荻」を組み合わせる図案化  
し、形象化した中心に校名  
「荻野」の文字を配している。  
【S57 開校】

### 大楠小学校



中央に配した「楠」を、五つの「大」で囲む。まわりの桜は、昭和10年、町制施行を記念して大楠山に桜を植樹したことによる。

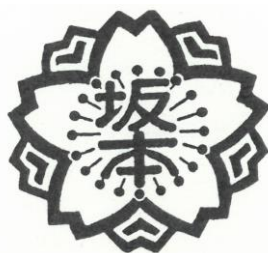
【M37 開校】

### 青葉小学校



学校周辺に緑の木立が多く、児童が緑の木のようにすこやかにと、柏の葉を3枚組み合わせている。中央には校名。  
【S29 開校 H11 坂本小と統合・桜小学校を開校】

### 坂本小学校



学校のまわりに桜の木が多かったことから、桜の花でかたどり、中央は校名を表す。

【S4 開校 H11 青葉小と統合・桜小学校を開校】

### 陽光小学校



太陽・光・小学校を組み合わせ、図案化したもの。サンサンと降り注ぐ太陽のもとで、明るく、心身共に健康に育つようにとの願い。  
【S50 開校 H18 鶴久保小と統合】

### 平作小学校



平作の「ヒラ」を図案化して安定性を持たせるとともに、まるく将来への伸展を意味する。

【S48 開校 H23 池上小と統合】

### 光洋小学校



周囲は3羽のかもめをかたどり、海と空を表す青地に太陽を表す朱色で、てん書の光洋を配置。

【S48 開校 H22 鴨居小と統合】

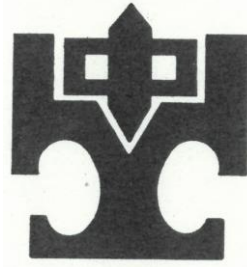
追浜中学校



「追」の字を中心に、YOKO SUKAの「Y」の3本柱は知・情・意を示し、三方の波頭は「浜」を表している。

【S36 開校】

鷹取中学校



鷹の雄姿を頭文字「T」(羽と足)と「中」(目とくちばし)を組み合わせて表している。

【S55 開校】

田浦中学校



鳩の翼とペンの形を組み合わせた。鳩の翼は飛躍と向上を、中心の軸はペンで、ドーリア式の円柱をかたどり、勉学の奨励をイメージした。

【S22 開校】

坂本中学校



坂中生が勉強に励むことを祈って、蛍と雪の結晶を図案化している。

【S22 開校】

不入斗中学校



「翼」は、明るく平和な将来の力強い発展、「波」は大きな強い心の育成、「ペン先」は、学問を象徴する豊かな心を象徴している。

【S22 開校】

常葉中学校



常葉台中学校の校章を継承。常磐木の葉にペンをあしらい、良い環境の中で勉強出来る中学生の喜びを表現している。

【S35 開校】

公郷中学校



公と中を組み合わせている。バックの銀色は宇宙を表し、公の八頭は宇宙に飛び立つことを意味し、ム部は誠実・健康・明朗を表す。

【S46 開校】

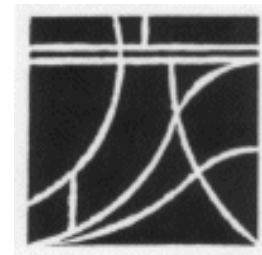
池上中学校



外側には三浦三邑を各三葉に配し、内側には池上の池と中学の中を図案化している。

【S22 開校】

衣笠中学校



衣笠の「衣」をかたどっている。正方形の中の流れるような曲線は大空を自由に羽ばたくことを、2本の直線は無限の広がり表現している。

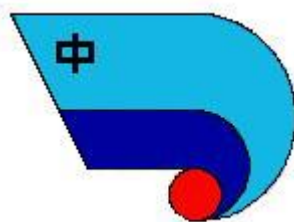
【S53 開校】

大矢部中学校



デザインは「和」と深い「きずな」をイメージし、「明るさ」と「スマート」さを表現している。  
【S59 開校】

大津中学校



情熱的なまとまりを基礎に安定して発展する若さあふれる明朗な「大津中」の姿を形と色で表現した。  
【S51 開校】

馬堀中学校



三方に伸びる波は馬堀海岸の波であり、文化の波を象徴する。Yは横須賀。Mは馬堀。  
【S22 開校】

浦賀中学校



浦賀港の波を扇形に書き、海に望んだその雄大さと将来への大きな希望とその着実な歩みを表している。  
【S22 開校】

鴨居中学校



十字型は「団結」を意味している。上下の模様は、観音崎を北限とする「シダ」を図案化。左右は「波」を表し、鴨居の環境を表現している。  
【S29 開校】

岩戸中学校



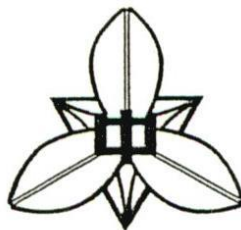
デザインは一期生が考案。木々の緑に囲まれ恵まれた環境の中にある学校に、いつも吹いている新鮮な風をイメージした若葉色の校章。  
【S62 開校】

久里浜中学校



太平洋の白波を三方に配し、知・情・意を示し、中央に船をすえて世紀を開く行動を顕した。  
【S24 開校】

神明中学校



全体の三角形は安定感や発展を、中央の三角形に榊の芽、大きな三角形に榊の葉を配して、成長、発展する様を示し、葉の形がペン先を表し、「学ぶ精神」を表す。  
【S54 開校】

野比中学校



「の」と「ひ」の三つの組み合わせの中に「中」を入れ、野比・ハイランド・栗田の三つの地域にあることを表現。  
【S52 開校】

### 北下浦中学校



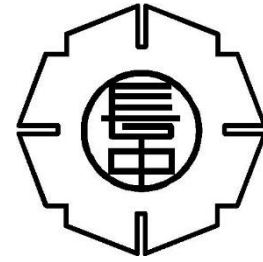
北下浦中学校の「北」を三角形に構成し安定感と均斉のとれた端正さを表現し、のびのびとした角度や輪郭線は若々しい力と発展を表現している。【S22 開校】

### 長沢中学校



校章は山々、そして太陽と自然に恵まれた長沢中学校の環境および、知・徳・体を表す。【S60 開校】

### 長井中学校



机・いすにもことかく旧海軍施設借用校舎周辺に咲きみだれる大根の花を地名「長井」の「井」として図案化し、「長中」を配す。【S22 開校】

### 武山中学校



図案の「竹」は武に通じ、また、「竹」のように粘り強くまっすぐにのびのびと育ってほしいという願いをこめている。3枚の竹の葉を「山」のかたちとして組み「武山」を表す。【S22 開校】

### 大楠中学校



楠中を囲んだ三つの「大」に、生徒の「智」「徳」「体」の調和のある発達の願いを込め、教師・生徒・保護者(地域)が一体となって教育目標の達成に邁進する心を表す。【S22 開校】

### 桜台中学校



校訓「明朗」「協和」「愛情」を横須賀の「ヨ」の字を図案化した三方の三枚の葉に見立て、中央の桜の花とて桜台の心と姿を表す。【S35 開校 H19 坂本中と統合】

### 上の台中学校



緑が豊かなので葉をデザイン。3枚の葉は、誠実・健康・自立を意味する。「中」の上の丸は波を意味し、下の線は団結を意味している。【S55 開校 H23 鴨居中と統合】

### 横須賀総合高校



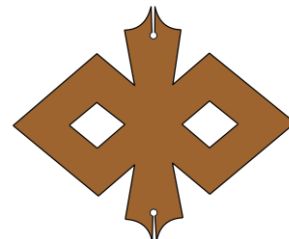
「YOKOSUKA」のY、「SO GO」のS、「HIGH SCHOOL」のHという3文字のアルファベットを組み合わせ、逆さまにしても同じ形状で見ることができる。【H15 開校】

### ろう学校



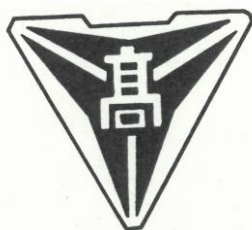
3枚の「かしわ」の葉は「強く」「正しく」「朗らかに」を象徴し、すくすくと育ってほしいという願いを込めている。中央の文字「Y」は横須賀のイニシャル。【S4 開校】

### 養護学校



ペン先をあしらった小と中の形が、小・中学部併設を表し、空や海のようにおらかな、和の心をもって毎日を過ごそうとの願いを込めている。【S39 開校】

### 横須賀高校



「高」と「Y」を配している。高より三方向に伸びる白色の線は、知・情・意を示し、緑色は健康と希望を周辺の白色は清潔を表現。

【S47 開校 H15 商業高・工業高と統合・横須賀総合高校を開校】

### 商業高校



横須賀のYを中心に、ソロバン珠3個を図案化した。商業の重要な「智仁勇」と生徒・先生・卒業生の強固な結びつきを表している。

【S4 開校 H15 横須賀高・工業高と統合・横須賀総合高校を開校】

### 工業高校



羅針盤に横須賀市章を加味して図案化。3方に長く伸ばされた部分は、技術の錬磨・質実剛健・協調の精神を象徴している。

【M35 開校 H15 横須賀高・商業高と統合・横須賀総合高校を開校】

### 大楠幼稚園



「幼」の字を中央に配し、それを楠の葉が支える。芦名の海に飛ぶカモメは、未来に向かってはばたく園児と見守る保護者と教師を表している。

【S54 開園】

### 諏訪幼稚園



母体である諏訪小学校の校章をもとにして、中央に「幼」を配した。スワの「ス」を8つ組み合わせ、中央の円は「和」を表している。

【S28 開園 R4 閉園】

令和5年3月現在

小学校	46校
中学校	23校
高等学校	1校
特別支援学校	2校
幼稚園	1園